

# 第3次赤磐市総合計画【概要版】

共に未来を描く  
白桃発祥のまち  
あかいわ



# 計画の構成と期間

総合計画では「基本構想」で”まちづくりの将来像”を定め、この将来像を実現するために「重点戦略（総合戦略）」、「基本計画」、「実施計画」の4つを定めています。また、それぞれの役割に応じて期間を設定しています。

## 基本構想

- 長期的な視点に立って、まちづくりの将来像の実現に向けた施策の方向性を示しています。

## 重点戦略

- 基本構想で定めた方向性を実現するため、特に重点的に力を入れて取り組むべきことについて示したものです。

## 基本計画

- 基本構想で定めた方向性を実現するため、各行政分野で取り組むべきことを示しています。

## 実施計画

- 基本計画で示された方針の計画的・効率的な実現のため、財政状況や事業の優先度を考慮の上、主要な事業の年次計画等を明らかにしたものです。

令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (2030年度)	令和13年度 (2031年度)	令和14年度 (2032年度)
基本構想（8年間）							
前期重点戦略（4年間）				後期重点戦略（4年間）			
前期基本計画（4年間）				後期基本計画（4年間）			
実施計画 (1年間)	実施計画 (1年間)	実施計画 (1年間)	実施計画 (1年間)	実施計画 (1年間)	実施計画 (1年間)	実施計画 (1年間)	実施計画 (1年間)

# まちづくりの将来像

## 共に未来を描く

白桃発祥のまち

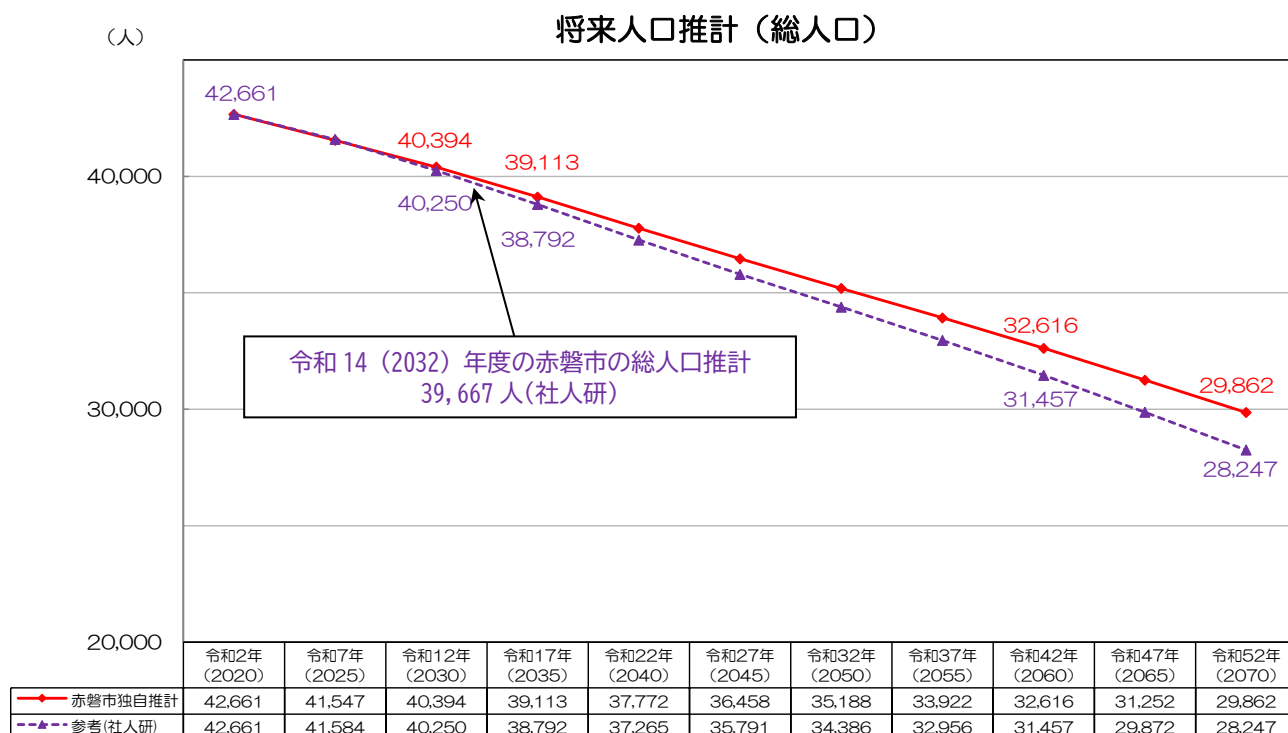
あかいわ

## 将来人口の目標

### ◆ 将来人口の目標 ◆

令和 14（2032）年度末の赤磐市の総人口目標

40,000 人



# 共に未来を描く 白桃発祥のまち あかいわ

## 基本構想

### 重点戦略Ⅰ

#### しごと

産業が活性化したまち



### 重点戦略Ⅱ

#### こども

子育て・教育環境が整ったまち



### 重点戦略Ⅲ

#### くらし

住んでいて安心安全なまち



## 戦略プログラム

働く人が輝ける  
雇用創出プログラム

農業に携わる人が  
誇れる魅力創出プログラム

観光振興による賑わいと  
活力創出プログラム

子どもは地域の宝、  
笑顔創出プログラム

安心して産み育てられる  
子育て世代への  
総合的支援の推進プログラム

子どもの生きる力を育む  
環境創出プログラム

住んでいて安心安全を実感  
できるまちづくりプログラム

住民主体の支え合いまちづくり  
プログラム

将来にわたって持続可能な  
まちづくりプログラム

## 基本計画

■ 新たな企業用地の確保  
■ 企業誘致の促進

■ 企業への人材確保支援  
■ 新たな挑戦に向けた支援

■ 農業経営者の育成  
■ 担い手への農地集積と  
生産基盤の整備  
■ 農産物の鳥獣被害対策

■ スマート農業による作業  
の効率化支援  
■ 多面的機能の発揮

■ 観光受入体制の整備  
■ 交流・連携等による  
地域産業の活性化

■ 滞在を楽しむコンテンツ  
創出  
■ 戦略的なPRの促進

■ 母と子の健康推進  
■ 特別支援教育の充実  
■ ひとり親家庭の自立に  
向けた支援の充実

■ 子どもの貧困・  
ヤングケアラー対策  
■ 豊かな心の養成  
■ 心身の健やかな育成

■ 出産・子育ての不安に  
対する情報・サービスの  
提供体制の整備  
■ 子育てサービス・  
保育サービスの充実

■ ゆとりをもった子育てを  
支援  
■ 仕事と子育ての両立支援  
■ 不妊・不育への支援

■ 保幼こ小中連携の推進  
■ 教育環境の充実

■ 地域の中での教育の充実  
■ 部活動の地域連携の推進

■ 災害に強い地域づくり  
■ 防災体制の強化  
■ 安心して利用できる道路等  
の整備

■ 安心して医療が  
受けられる体制  
■ 生活の安全確保対策  
■ 移住・定住を支援する  
体制の充実

■ 高齢者や障害児・者の  
地域での支え合い  
■ 生涯学習の推進  
■ 生涯を通じて健やかに  
暮らせる生活の質の  
向上推進

■ 障害者福祉の充実  
■ 市民が主体のまちづくりの  
推進  
■ 多様性社会の実現

■ 行政サービスのデジタル化  
■ 健全な財政の運営  
■ 快適な生活環境の保全推進

■ 公共交通の整備・確保と  
利用促進  
■ 魅力的な中心市街地等の  
形成



## 基本構想

### 重点戦略Ⅰ

## しごと 産業が活性化したまち

新たな企業の誘致や企業のDX化等を支援しながら、若者や女性など働く世代に選ばれるまちを目指していきます。

強みである農業を活かすために、農業経営者の育成やスマート農業による作業の効率化支援等の取組を実施します。

観光協会、民間事業者、地元農業経営者等と連携しながら、観光受入体制の整備や滞在を楽しむコンテンツ創出等の取組を実施します。

数値目標(8年間(令和14年度末)の目標)

新規等企業立地件数(累計) 3件<sub>(R2~R6)</sub> ➡ 4件<sub>(R7~R14)</sub>

### 重点戦略Ⅱ

## こども 子育て・教育環境が整ったまち

“子育てするなら赤磐市”の実現のため出産、子育てが安心して行えるよう制度や体制を構築し、きめ細やかな支援を実施します。子どもは地域の宝であり、夢や目標を持ち、何事にも挑戦できるような環境を整え、郷土への愛着や自己肯定感を高めることができる取組を実施します。

インクルーシブな発想をもとにした教育活動を行うことで、自己理解を深め、自己実現に向かうとする意欲や様々な価値観の存在を理解し、他者と望ましい関係を築こうとする態度を育みます。

数値目標(8年間(令和14年度末)の目標)

合計特殊出生率 1.49<sub>(R5)</sub> ➡ 1.80<sub>(R12)</sub>

### 重点戦略Ⅲ

## くらし 住んでいて安心安全なまち

市民との対話を重視し、市民が住んでいて居心地が良く、住み続けたい安心安全なまちを目指します。

そのために、災害に強い地域づくりや安心して医療が受けられる体制、移住・定住を支援する体制の充実、多様性社会の実現、公共交通の整備・確保と利用促進等が実現できる取組を実施します。

数値目標(8年間(令和14年度末)の目標)

転入者数 1,052 人/年<sub>(R6)</sub> ➡ 1,100 人/年<sub>(R14)</sub>

## 基本計画

### 重点戦略Ⅰ

## しごと 産業が活性化したまち

### ① 働く人が輝ける雇用創出プログラム

#### 【施策】

- 新たな企業用地の確保
- 企業への人材確保支援
- 企業誘致の促進
- 新たな挑戦に向けた支援

#### 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

新たな企業用地の確保(累計)	7.06ha(R2~6) → 8.00ha(R7~14)
新規創業者数(累計)	65人(R2~6) → 120人(R7~14)

### ② 農業に携わる人が誇れる魅力創出プログラム

#### 【施策】

- 農業経営者の育成
- スマート農業による作業の効率化支援
- 担い手への農地集積と生産基盤の整備
- 多面的機能の発揮
- 農産物の鳥獣被害対策

#### 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

新規就農者の確保(累計)	105人(H22~R6) → 155人(H22~R14)
担い手への農地利用集積面積	586ha(R6) → 646ha
新規狩猟者の確保(累計)	6人(R6) → 24人(R7~14)
多面的機能向上のための活動組織の数	19団体(R6) → 24団体

### ③ 観光振興による賑わいと活力創出プログラム

#### 【施策】

- 観光受入体制の整備
- 滞在を楽しむコンテンツ創出
- 交流・連携等による地域産業の活性化
- 戦略的なPRの促進

#### 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

観光入込客数	298,000人/年(R6) → 470,000人/年
赤磐市の認知率	未実施(R6) → 30%

## ① 子どもは地域の宝、笑顔創出プログラム

## 【施策】

- 母と子の健康推進
- 子どもの貧困・ヤングケアラー対策
- 特別支援教育の充実
- 豊かな心の養成
- ひとり親家庭の自立に向けた支援の充実
- 心身の健やかな育成

## 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

乳幼児健診受診率	95.1%(R6)	➔ 97.0%
特別支援学校教諭免許状所有率(特別支援学級担当教諭)	38.9%(R6)	➔ 55.0%
「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答える児童・生徒の割合	85.6%(R6)	➔ 88.0%
中高生の地域活性化事業によるボランティア参加数(累計)	36人/年(R6)	➔ 320人(R7~14)

## ② 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援の推進プログラム

## 【施策】

- 出産・子育ての不安に対する情報・サービスの提供体制の整備
- ゆとりをもった子育てを支援
- 仕事と子育ての両立支援
- 子育てサービス・保育サービスの充実
- 不妊・不育への支援

## 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

子どもの総合相談窓口での相談受付件数	552件/年(R6)	➔ 700件/年
24時間電話相談件数	2,794件/年(R6)	➔ 2,800件/年
保育のICT化導入率	67%(R6)	➔ 100%
新婚世帯家賃助成交付数	17件/年(R6)	➔ 28件/年



### ③ 子どもの生きる力を育む環境創出プログラム

#### 【施策】

■保幼小中連携の推進

■地域の中での教育の充実

■教育環境の充実

■部活動の地域連携の推進

#### 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

「授業の内容がよく分かる」と答える児童・生徒の割合

83.8%(R6) → **88.0%**

幼稚園非構造部材耐震化率

0%(R6) → **100%**

小中学校体育館空調設備整備率

0%(R6) → **100%**

「地域や社会をよくするために何かしてみたい」と答える児童・生徒の割合

【再掲】85.6%(R6) → **88.0%**

中高生の地域活性化事業によるボランティア参加数(累計)

【再掲】36人/年(R6) → **320人**(R7~14)



# ① 住んでいて安心安全を実感できるまちづくりプログラム

## 【施策】

- 災害に強い地域づくり
- 防災体制の強化
- 安心して利用できる道路等の整備
- 安心して医療が受けられる体制
- 生活の安全確保対策
- 移住・定住を支援する体制の充実

## 重要業績評価指標(8年間(令和 14 年度末)の目標)

住宅の耐震化	74%(R1)	→ 95%
水道管路の耐震化率	4.0%(R6)	→ 7.4%
自主防災組織数	36 組織(R6)	→ 60 組織
住宅用火災警報器設置率	74.6%(R6)	→ 100.0%
空き家情報バンクへの物件登録数(累計)	28 件/年(R6)	→ 280 件(R7~14)



## ② 住民主体の支え合いまちづくりプログラム

### 【施策】

- 高齢者や障害児・者の地域での支え合い
- 生涯学習の推進
- 生涯を通じて健やかに暮らせる生活の質の向上推進
- 障害者福祉の充実
- 市民が主体のまちづくりの推進
- 多様性社会の実現

### 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

図書館来館者数	121,230 人/年(R6)	➔ 183,000 人/年
特定健診実施率	38.2%(R5)	➔ 60.0%
健康教育・健康相談	6,105 人/年(R6)	➔ 6,200 人/年
週1回以上運動・スポーツをする割合	30.0%(R6)	➔ 50.0%
いきいき百歳体操に参加する高齢者の割合	5.2%(R6)	➔ 7.4%
基幹相談支援センターへの相談件数	1,126 件/年(R6)	➔ 1,400 件/年
市と市民団体等が協働で行う事業の実施件数	4 件/年(R6)	➔ 6 件/年
人権講座への参加者数(累計)	247 人/年(R6)	➔ 1,500 人(R7~14)



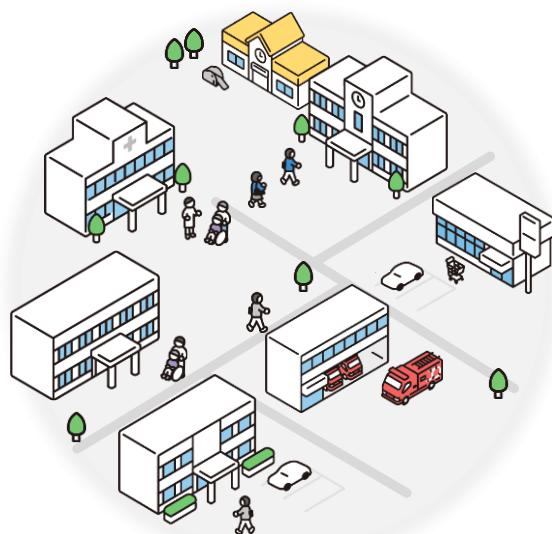
### ③ 将来にわたって持続可能なまちづくりプログラム

#### 【施策】

- 行政サービスのデジタル化
- 公共交通の整備・確保と利用促進
- 健全な財政の運営
- 魅力的な中心市街地等の形成
- 快適な生活環境の保全推進

#### 重要業績評価指標(8年間(令和14年度末)の目標)

公式LINEの友だち登録数	3,231 件(R6)	➡ 7,000 件
窓口のデジタル導入実績	0 件(R6)	➡ 5 件
市税徴収率	99.17%(R6)	➡ 99.20%
公共建築物の延床面積削減	0 m <sup>2</sup> (R6)	➡ 44,280 m <sup>2</sup>
実質公債費比率	7.9%(R5)	➡ 10%以下
市全域の温室効果ガス排出量	276 千 t-CO <sub>2</sub> (R4)	➡ 156 千 t-CO <sub>2</sub> (R12)
公共交通の利用者数	50,208 人/年(R6)	➡ 55,600 人/年







### 第 3 次 赤 磐 市 総 合 計 画（概要版）



---

発 行 年 月       ：   令和7年9月

編 集 ・ 発 行       ：   赤磐市

〒709-0898 岡山県赤磐市下市 344

U   R   L        ：   <https://www.city.akaiwa.lg.jp/>

---